

ウィリー株式会社 様



Weilli

Everyone grows.

<ウィリー株式会社について>

1998年創業。生産管理システム、販売管理システム、CAD/CAMシステムの開発販売から、ネットワーク機器やクラウドサービスまで、ものづくりの生産性と品質を高めるためのソリューションを提供している。エンジニア自らが顧客企業に赴きユーザーニーズのヒアリングを行うことで、現場のニーズを的確に捉え、それを高い技術力でソリューションの機能として実装している。2012年には上海に現地法人を設立した。



自社開発のパッケージソフトウェアに Brava の API を組み込み、ユーザーの利便性を向上

ウィリー株式会社

ソフトウェア事業部 部長 佐光真一 氏、営業 山中恭子 氏

写真左端：弊社代表取締役社長 持木、右端：営業部 板屋

「ユーザー第一主義」を貫き通すことでソフトウェアの付加価値を創造し、競合との差別化を図るウィリー社の開発姿勢。

— 板金業に特化したソリューションとのことです。貴社のビジネスとお客さまの特徴についてお話をください。

ものづくりの現場で欠くことのできないツールがCAD/CAMシステムです。中でもウィリーは板金加工に特化した板金 CAD/CAM システムと生産管理システムを開発・販売しています。

ものづくりの現場の効率化のニーズに応えるために、ウィリーは常にユーザーの視点に立った開発を行っている。同社ソフトウェア事業部部長の佐光真一氏は強調します。

「一つのシステムで工作機械を動かすためのデータが作成できる CAD/CAM システムの『ROZA』と、それに連携した生産管理システム『CiPS FACTORY』によって、無駄のないシームレスな製造管理と生産管理が実現できます。板金業向けに特化することで、業界特有のニーズにも対応しています」(佐光氏)



「工作機械メーカーの純正ソフトにはない付加価値機能や使い勝手のよさが差別化のポイントです。」

ソフトウェア事業部 部長 佐光氏

同社の顧客は、工程ごとや製品ごとに異なる工作機械を使用することが多く、CAD/CAM システムの一元化は製造効率を引き上げることになります。

また、CAD/CAM システムと生産管理システムとの連携は、ミスや無駄の削減につながります。さらに、使い勝手のよいシームレスなツールは、情報共有やコミュニケーションの促進にも役立ちます。

ユーザー第一主義を謳う同社では、「現場のニーズ」を汲み取るためにエンジニアが顧客企業に赴いて、ニーズをヒアリングしていると、同社営業の山中恭子氏は説明します。

ユーザーの使い勝手を第一に考えて開発を行うためには、お客さまの声を直接聞くことに勝るものはありません。



「お客さまからのさまざまな要望を実現することがソフトウェアの商品価値を高めると思っています。」

営業 山中氏

「お客さまのニーズは多岐にわたり、ソフトウェアをカスタマイズする必要もあります。お客さまが必要とする機能を迅速に実装することが一番重要です」(佐光氏)

お客さまの要望をピックアップして生まれた機能は、速やかに製品に反映しています。同社では、3カ月毎に定期的なアップデートを行い、常に最新のニーズを製品に実装し続けています。

マルチビューア機能を持つ Brava でなければ実現できなかった。ユーザーの生産性を上げる利便性の高い UI。

— 生産管理システムに組み込むビューアにはどのような要件が求められたのでしょうか。

CAD/CAM システムで取り扱うファイル形式はさまざまです。CAD で用いられる DWG のほかにも、JPEG や TIFF もよく用いられる形式です。さらに、発注元企業から支給される図面や設計図書には PDF 形式も多用されます。

「業務に関わるすべての図面類をシームレスに閲覧できることは、当社の生産管理システムの重要なポイントでした。競合するソリューションでは実現できていない機能で、ユーザーの利便性を大きく向上することができます」(山中氏)

開発スピードを重視する同社では、ビューア機能の実現は、自社開発ではなく、API による実装を選択しました。しかし、JPEG、TIFF、PDF のすべてのファイル形式に対応したビューアは「Brava」しかなかったと佐光氏は振り返ります。

「PDF ファイルまでシームレスに表示できることに加えて、拡大・縮小、書き込みや印刷にも対応している『Brava』は、当社が求めていたビューアでした」(佐光氏)

ユーザーのニーズを的確に捉え、スピーディーに応えるためには、API としての使い勝手も重要です。組み込みに手間がかかるようでは、API の利用を選択した意味がなくなります。「CiPS FACTORY」への組み込みにあたっては、サンプルプログラムによる検証作業を行ったといひます。

「『Brava』の検証は、提供されているサンプルプログラムだけで十分行えました。ソリューションへの組み込みも容易に行えた印象です。他社製の API も試してみたが、最終的に『Brava』を採用しました」(佐光氏)

BravaのAPIの存在と エンジニアの対面ヒアリングから、 お客さまのニーズをキャッチアップ した新しい機能が生まれた。

一 生産管理システムには、「Brava」を活用したユニークな機能も搭載されているとうかがいました。

こうして「Brava」を組み込んだ「CiPS FACTORY」は、設計に関わる図面などのドキュメント類をシームレスに取り扱うことができる生産管理システムとなりました。ドラッグ・アンド・ドロップで図面を登録でき、すぐに内容を確認することができるので、ユーザーは複数のビューアを使い分ける必要がありません。(下図①・②)

「部品番号や発注コードではなく、図面を見た方が仕事の内容を把握しやすいという現場のユーザーの声があります。図形として認識すると、取り違えなどのミスの低下にも役立つようです」(山中氏)(下図③)

さらに、「CiPS FACTORY」には、現場の声から生まれたというユニークな「スライドショー」機能も

搭載されています。工程の納期が遅延している図面を、工場や事務所の大型モニターに自動で次々に映し出す機能です。

「進捗が遅れている図面を連続で表示させることで、現場の注意を喚起したい」というソフトウェア開発側からは考えもつかない要望をいただきました。そして、このスライドショー機能の実現には、さまざまなファイル形式の図面をビューアの切り替えなしに表示できる『Brava』でなければ応えられませんでした」(佐光氏)

「当社のエンジニアが直接、お客さまの元に出向いて、実際に使用しているユーザーから、使い勝手や搭載して欲しい機能などをうかがっています。思いもよらないニーズが明らかになることも珍しくありません」(山中氏)(下図④)

生産管理システムとマルチビューアの組み合わせに、現場ならではのアイデアが加わることで、図面のスライドショーというユニークな機能が実現できたのです。

迅速にお客さまのニーズに対応するには、APIを利用した組み込みによる開発の効率化がポイント。

一 ソリューション開発、機能の追加を行う上で、APIをどのように位置づけているのでしょうか。

ウィリーが実践しているユーザー視点のソリューション開発では、必要な機能の搭載と、それを実現するまでのスピードが重要です。今後も必要に応じてAPIを利用した組み込みを行っていくと切り切る佐光氏に迷いはありません。

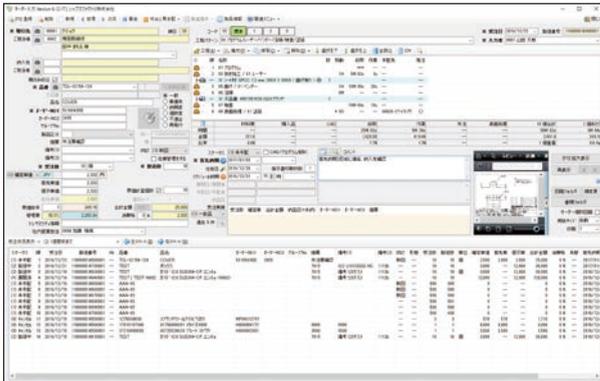
「現在検討しているのは、音声案内機能の搭載です。この機能もAPIの利用によって実装する計画です」(佐光氏)

ユーザーにとっては、APIが提供する機能が重要ですが、ソリューション開発ではAPIとしての使い勝手も重要なポイントになります。組み込みやすさや安定性といった開発者のニーズについてもBravaは満足できたと山中氏は評価します。

「組み込みはスムーズに行えましたし、オーシャンブリッジの対応も迅速でした。スピードを重視する当社はとても助けられたと感謝しています」(山中氏)

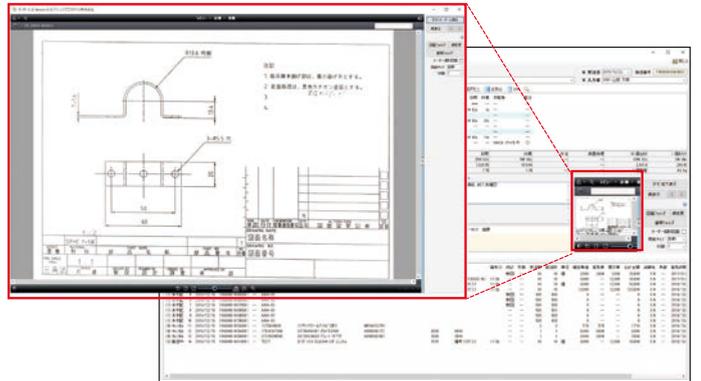
Bravaは、これからもソリューションの付加価値の向上をサポートしていきます。

図① 【CiPS FACTORY：オーダー入力画面】



オーダー入力画面では、各種情報とともに、図面ファイルも登録できる。

図② 【CiPS FACTORY：図面拡大表示】



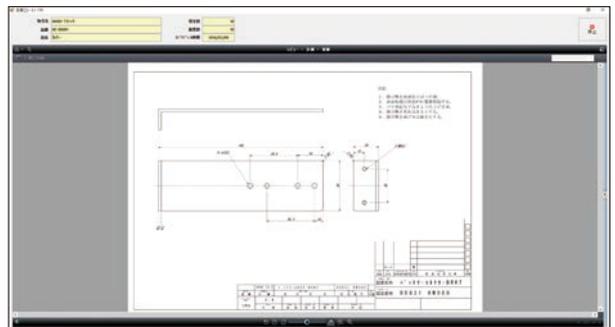
「拡大表示」ボタンを押すことで、図面を拡大表示でき、細部を確認することができる。

図③ 【CiPS FACTORY：進捗画面】



進捗画面でもビューア機能が利用できるため、ユーザーはひと目でどの仕事なのかを把握できる。

図④ 【CiPS FACTORY：図面スライドショー】



工程納期が遅延している図面を表示させている。

Bravaの体験版・お問い合わせはこちらから **Brava サイト** <https://www.bravaviewer.jp>



Brava国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F

Web: <https://www.oceanbridge.jp/>

Email: sales@oceanbridge.jp

TEL: 03-6809-0967(営業部)

- BravaはOpenText Corp.の登録商標です。
- その他の社名または商品名等は、各社の登録商標または商標です。

ご購入に関するお問い合わせは